

平成31年  
3月2・3日  
城博の日



開館2周年

# 城博

KOCHI  
CASTLE  
MUSEUM  
OF  
HISTORY  
2nd  
ANNIVERSARY

ジョーハク

# の博

## 半家天満宮 の祭礼

お城下で見る土佐国  
その5



### 記念行事

3/2 SAT

**学芸員  
リレートーク**  
時間/11時~12時  
会場/当館1階ホール  
定員/先着90名 ●無料/申込不要  
城博の学芸員が、1年間の研究成果や新たな発見などをリレー形式でご報告します。

**記念演奏会  
雅楽の調べ**  
時間/13時~14時 ●無料/申込不要  
演奏/繁藤雅陽会  
会場/北ステージ(屋外)  
演目『越天楽』『陪臚』『合歓塩』『蘭陵王』舞楽

**記念講演会「武士と合戦はどう描かれてはならないか」**  
—岩波新書「武士の日本史」で述べたこと—  
●無料/要事前申込 時間/15時~16時30分  
講師/高橋昌明氏(神戸大学名誉教授、高知市出身)  
会場/当館1階ホール  
定員/先着90名

**申込方法** 当館まで氏名、住所、電話番号、電話・FAX・ハガキのいずれかでお知らせください。【2/7受付開始】

【一日限定】和室開放 時間/10時~16時 ●無料/申込不要

**企画展  
山内家のおひなさま**  
—匠の極小世界—  
スライドレクチャー 時間/14時~14時20分 ●要観覧券/申込不要  
会場/当館3階 土佐史探索室  
学芸員が展示の見どころを解説します。

3/3 SUN

**記念演奏会  
明德義塾高校  
による太鼓**  
時間/9時30分~10時 ●無料/申込不要  
演奏/明德義塾高等学校和太鼓部 太鼓衆 魁鼓  
会場/当館北ステージ(屋外)

**やってみよう!  
つくってみよう!**  
●各500円/申込不要  
時間/10時~15時  
会場/当館1階ホール、実習室  
協力/(公財)高知県文化財団

**土佐の伝統産業**  
高知の職人やアーティストによる、土佐の伝統的な技術や素材に親しめるワークショップを開催!個性あふれる作品の購入もできます。

**出展**  
●土佐のヤマモモの木で桃の花のマグネットをつくらう!(KOSUGE1-16/佐川町) 定員/先着50名  
●土佐和紙でひな飾りや郷土玩具をつくらう!(造形教室/高知市) 定員/先着50名  
●土佐打刃物の研ぎ体験&ミニレクチャー(土佐刃物流通センター/土佐山田町) 定員/各回先着5名(10時/11時/12時/13時/14時)  
●土佐い草と畳についてのミニレクチャー&サシェ(香り袋)をつくらう!(じやはかる/土佐市) 定員/各回先着10名(10時/11時/12時/13時/14時)

**お呈茶** 日時/10時~12時 ●500円/申込不要  
13時~15時 ※お菓子が無くなり次第終了  
会場/当館1階和室  
協力/茶道高知和敬会

江戸時代の和菓子デザイン集「生菓子図案集」より再現した和菓子とお茶を楽しむほか、講師によるお点前の実演もごさいます。

## 牛鬼だー!!!

最初で最後かもしれないお城下遠征。  
牛鬼と演奏、必見です。



3/3 13:00-15:00 SUN ●申込不要・見学自由

土佐の大地で脈々と受け継がれてきた祭りや行事を高知城下で披露する催し「お城下で見る土佐国」。今年は、牛鬼練りで知られる四万十市西土佐の「半家天満宮の祭礼」を紹介します!

共催/四万十市、四万十市教育委員会  
協力/半家郷土芸能保存会、高知城管理事務所、高知市商店街振興組合連合会、土佐の「おきゃく」2019推進会議

『お練り』13時~14時30分

牛鬼や踊り子など約30人の行列がお城下を練り歩きます。中央公園では「五ツ鹿踊り」と「花取り踊り」を披露します。

〔はりまや橋商店街 ▶ 京町商店街 ▶ 中央公園(演舞あり) ▶ 帯屋町1丁目・2丁目商店街 ▶ 当館 ▶ 高知城追手門広場〕

※雨天の場合は中央公園での演舞は中止し、新京橋商店街北側に演舞を行います

『演舞』14時30分~15時 高知城追手門広場

半家天満宮の秋祭りで奉納される「五ツ鹿踊り」と「花取り踊り」を披露します。お城で暴れる牛鬼の姿は必見です!

※雨天の場合は追手門広場での演舞は中止します

同時開催 **ミニ物産展・ミニパネル展**  
時間/11時~15時30分 当館北ステージ(屋外)

四万十市の特産品を販売するミニ物産展と、半家地域の歴史文化を紹介するミニパネル展を行います。(物産展主催:四万十市)

**半家天満宮の祭礼**  
高知県南西部、愛媛県に近接する四万十市西土佐半家地区。四万十川のほとりに鎮座する半家天満宮では11月8日に秋祭りが行われる。祭礼における「お練り」の花形は、宇和島藩から伝わったとされる「牛鬼」と「鹿の子」で、それらが行列を成して沈下橋を渡る光景は祭りの見所の一つである。行列がお宮に戻ると、鹿の子が「五ツ鹿踊り」を、地域の青年や子どもたちが「花取り踊り」を奉納する。

**観覧料特別割引**  
3月2日(土)、3日(日)は  
展示観覧料2割引

